

## 第 11 回 医学生・研修医のための スポーツ医学・健康医学セミナー開催要項

【主催】:(財)日本水泳連盟医・科学委員会/医事部 日本水泳ドクター会議

【後援】:新潟県水泳連盟、新潟県医師会、長岡市医師会(予定)

【日時】:平成 19 年 8 月 25 日(土)

【場所】:長岡市医師会館 〒940 2101 新潟県長岡市寺島町 315 番地 6

【趣旨】:近年のスポーツの普及・拡大はめざましい。オリンピックやワールドカップをはじめとする各種競技会をめざす競技スポーツ、健康増進のための健康スポーツ、楽しみのためのレクリエーションスポーツ、学校体育・社会体育の一貫としてのスポーツ、障害・疾病の治療・予防・リハビリテーションの手段としてのスポーツ、障害児・障害者・高齢者などの福祉、あるいは社会的統合の手段としてのスポーツなど、その目的、対象、方法、内容の細分化に伴い、関わる人々は益々多様化している。個(体)の特性に即した適正なスポーツ、健全なスポーツのあり方が、社会全体から強く望まれている。

スポーツ医学は、一流のスポーツ選手の医事管理と支援のみをめざしたものではなく、様々な特性を持つ人々の心身の健康を増進し、その人の持つ能力と可能性を開き、生活を豊かにし、人生の質を高め、幸福を追求するための手だてを与えることを目標としている。その視野の中には競技スポーツ選手をはじめ、子ども、女性、中高年者、障害児・障害者の行う運動・体育・スポーツなどの様々な身体活動が含まれている。そして、身体活動を通して、それぞれの人々が、健やかなからだを育むために、医学の立場からの専門的・総合的、全人的対応をめざしている。現行大学での医学教育の中には、「スポーツ医学」の系統だった講義・実習などが必ずしも十分に組み込まれていないために、スポーツ医学を志向したり、興味・関心を持つ医学生がスポーツ医学の考え方や対応の仕方を十分に知ることができずにいる例が少なくない。

そこで、日本水泳ドクター会議では、医学生(卒業 1~2 年の研修医を含む)を対象に、スポーツ医学の概念と内容、実践活動について、ありのままを伝え、共にこの学際的医学領域を育成し、運動・体育・スポーツを実践する人々への支援をより強く豊かにし、社会にいささかでも貢献することを希望して「医学生のためのスポーツ医学セミナー」を以下に企画した。

## 【プログラム】

司会：渡部 厚一（筑波大学大学院）

13：00 開会挨拶 日本水泳ドクター会議会長

山田 均（高岡市民病院）

新潟県・長岡市医師会代表

立川層太郎（悠遊健康村病院）

13：10 - 14：50 第 1 部（講義各 20 分 質疑各 10 分）

座長 加藤 永史（かとう胃腸科外科病院）

【講義 1】「スポーツ医学・健康医学の理念と実践」

武藤 芳照（東京大学身体教育学講座教授）

【講義 2】「地域医療におけるスポーツ医の活動」

岡崎 哲和（医療法人社団岡崎病院）

【講義 3】「女性のスポーツ医学」

江夏亜希子（東京大学身体教育学講座博士取得後研究員）

14：50 - 15：10 休憩 20 分

15：10 - 16：40 第 2 部（講義各 20 分 質疑各 10 分）

座長 金岡 恒治（早稲田大学スポーツ科学学術院準教授）

【講義 4】「スポーツとドーピングコントロール」

鈴木 紅（都立墨東病院循環器科）

【講義 5】「健康医学へのスポーツ医学の応用」

大谷 宏明（医療法人社団大谷会大谷リハビリテーション病院）

【講義 6】「チームドクターの医事管理の実際」

渡部 厚一（筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻）

16：40 - 17：00 休憩 20 分

17：00 - 18：00 第 3 部「私とスポーツ医学・

健康医学」( 講義各 20 分 )

座長：太田（福島）美穂

（札幌市発達医療センター・水と健康医学研究所）

【1】田中（加藤）和美（群馬大学医学部外科）

【2】吉澤 大（都立墨東病院総合診療科・内科）

【3】岡田知佐子（東京厚生年金病院リハビリテーション科）

18：00 閉会

18 : 30 頃 ~ 懇親会